

佐藤 高 清 議員

緑豊かなきれいなまちへ ワンコイン環境税の導入を

問

だれもが緑豊かなきれいなまちに住みたいと思うが、公園の維持管理費だけで膨大な費用となっている。ごみの後始末を行政に押し付けないためには、地域住民と利用者が協力し、行政は後方支援をしっかりとすることだと思つ。

環境計画を策定中 導入は考えていない

答 市長

市民に美化運動促進をど

う取り組んでもらうか、環境教育の推進等、大前提としての環境基本計画を22年に策定していきたい。市民の新たな負担になる環境税は、大変慎重に考えていかなければならず、導入は考えていない。


問

ポイ捨てや不法 投棄の現状は

ポイ捨てについて尋ねる。
(1) 現状
(2) ポイ捨て禁止条例の制定についての必要性

シルバーに委託 廃タイヤが600本

答 環境課長

(1) 紙くず等のポイ捨てごみは、シルバー人材センターに年間委託（）をして対応している。業務を開始した20年5月から2月までに、紙くず、家具、自転車等が18・58t、廃タイヤ600本、テレビ等58台等を回収した。

61カ所の公園等や幹線道路を中心に、市が年間295万円で委託し、会員が不法投棄や散乱ごみを週5日程度回収している。20年5月より開始。



ごみを回収する
シルバー人材センターの会員

答 市長
(2) 8年に「空き缶等ごみ散乱防止条例」を制定している。

今後この条例を市民に周知徹底し、PRしていく

ことも大事だと思つている。

市外も市民の葬儀 に参列してほしい

問

亡くなられた市民に対する市の対応を聞く。

(1) 今までの対応
(2) 最近自宅での告別式が減り、隣接自治体の斎場へ出向く場合が多々ある。ぜひ蟹江町で行われる場合も、出向いてもらいたい。

4月から市外も 同様に対応したい

答 総務部長

(1) 市内での葬儀は家族の許しが得られた場合、幹部職員が参列し、市外は弔電をもって弔意を表している。

(2) 市民から(同様の)声があり、幹部会で協議し4月から愛西市、蟹江町、飛鳥村に限り、市内同様に参列したい。